



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア

上場取引所 東

コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	854	△3.0	△375	—	△183	—	△165	—
25年3月期第3四半期	880	11.5	△256	—	△185	—	427	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △97百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 240百万円 (△87.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△10.86	—
25年3月期第3四半期	28.01	—

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	6,442	—	4,633	—	71.1	299.53
25年3月期	4,987	—	4,647	—	93.1	304.39

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,581百万円 25年3月期 4,645百万円

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	1.7	△345	—	△350	—	△365	—	△23.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社グラモ及びGiamo America, Inc.を連結子会社として連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,294,200 株	25年3月期	15,260,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	42 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	15,278,444 株	25年3月期3Q	15,260,200 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく第2次中期経営計画を推進しております。当連結会計年度は、スマートデバイスの普及に対応した製品・サービスを強化することで、従来の売り切りビジネスから継続的な課金モデルに転換を図り、売上と収益の安定的な成長を目指しております。

そのような中で、売上高に関しましては、医療事業部において保守サポート体制の強化および医療機関のWindows XPサポート終了に伴うリプレイス需要から、主力製品である放射線科向け製品AmiVoice® Ex7 Radおよび電子カルテ向け製品AmiVoice® Ex7 Clinicの販売が堅調に推移いたしました。また、議事録事業部において昨今の議事録作成需要の高まりを受け、議事録作成業務を効率化する議事録作成支援システムの導入が堅調に推移いたしました。一方、クラウド事業部においては、前年同期に受注したキャリア向けの売上を補うことができず、前年実績を下回りました。

損益に関しましては、粗利益を堅調に確保し、期初から計画していた積極的な研究開発投資等を吸収しました。営業利益については前年同期を下回ったものの、ほぼ当初計画どおりの水準となりました。経常利益については、想定を超える円安の影響により為替差益194百万円を営業外収益に計上し、当初計画を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は854百万円（前年同四半期は売上高880百万円）、営業損失は375百万円（前年同四半期は営業損失256百万円）、経常損失は183百万円（前年同四半期は経常損失185百万円）、四半期純損失は165百万円（前年同四半期は四半期純利益427百万円）となりました。

音声事業のうち各分野別の状況は、以下のとおりであります。

① CTI事業部

コールセンター向け音声認識ソリューションの新バージョン『AmiVoice® Communication Suite2.0』の販売を開始しました。新バージョンでは、通話のリアルタイム音声認識をコールセンター業界初となるサーバー側で行う方式を採用し、環境面の課題で導入が出来なかったお客様への対応が可能となりました。

② クラウド事業部

医薬品メーカー等でスマートフォン・タブレットでの営業報告書の作成支援に当社音声認識技術が採用されました。

③ 医療事業部

保守サポート体制の強化および医療機関のWindows XPサポート終了に伴うリプレイス需要から主力製品である放射線科向け製品AmiVoice® Ex7 Radおよび電子カルテ向け製品AmiVoice® Ex7 Clinicの販売が堅調に推移しました。

④ 議事録事業部

昨今の議事録作成需要の高まりを受け、議事録作成業務を効率化する議事録作成支援システムの導入が堅調に推移しました。滋賀県東近江市役所への導入など、自治体・民間をあわせた累計での導入実績が100件以上となりました。

また、音声認識を活用したクラウド型文字起こしサービス「VoXT(ボクスト)」をスタートいたしました。「VoXT(ボクスト)」は、音声認識を利用した時間数に応じた従量課金制を基本としており、セミナー、インタビューの文字起こしを始め、教育機関での講義、株主総会、決算説明会等、世の中にあふれる音声をテキスト化する事を目的に、幅広いお客様の利用を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,449百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,613百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。この結果、総資産は、6,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,455百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は219百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。固定負債は1,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,524百万円増加いたしました。これは主に社債が1,505百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,469百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失165百万円の計上と新株予約権の行使による資本金等の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.1%（前連結会計年度末は93.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社グラモの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社グラモがGlamo America, Inc. を設立したため、Glamo America, Inc. を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,267,953	3,881,019
受取手形及び売掛金	569,185	203,847
有価証券	85,611	95,080
商品及び製品	4,712	6,297
仕掛品	5,669	45,752
原材料及び貯蔵品	13,081	13,344
未収入金	129,267	258,485
その他	99,530	119,851
貸倒引当金	△3,110	△1,950
流動資産合計	3,171,900	4,621,729
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,979	67,979
減価償却累計額	△35,171	△35,171
減損損失累計額	△32,807	△32,807
建物（純額）	—	—
その他	98,280	107,889
減価償却累計額	△82,290	△83,414
減損損失累計額	△15,290	△15,230
その他（純額）	699	9,243
有形固定資産合計	699	9,243
無形固定資産		
のれん	—	119,832
ソフトウェア	7,838	39,166
ソフトウェア仮勘定	590	24,779
無形固定資産合計	8,428	183,778
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,603	1,110,819
敷金及び保証金	74,174	75,706
長期前払費用	495,371	438,212
長期未収入金	206,820	—
その他	155	3,254
貸倒引当金	△959	—
投資その他の資産合計	1,806,164	1,627,993
固定資産合計	1,815,292	1,821,016
資産合計	4,987,192	6,442,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,108	25,972
未払金	17,737	71,622
リース債務	305	122
未払法人税等	66,338	6
前受金	65,858	75,643
繰延税金負債	5,685	9,292
その他	48,821	36,957
流動負債合計	274,854	219,618
固定負債		
社債	—	1,505,000
リース債務	71	—
繰延税金負債	58,118	77,719
資産除去債務	7,022	7,117
固定負債合計	65,211	1,589,837
負債合計	340,066	1,809,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,585,097	4,602,097
資本剰余金	3,577,231	3,594,231
利益剰余金	△3,607,655	△3,773,638
自己株式	—	△68
株主資本合計	4,554,673	4,422,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,089	157,129
為替換算調整勘定	1,312	1,333
その他の包括利益累計額合計	90,402	158,463
新株予約権	2,050	52,204
純資産合計	4,647,126	4,633,290
負債純資産合計	4,987,192	6,442,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	880,869	854,561
売上原価	336,989	303,888
売上総利益	543,879	550,672
販売費及び一般管理費	799,996	926,372
営業損失(△)	△256,117	△375,700
営業外収益		
受取利息	2,718	5,289
有価証券利息	14,909	9,045
為替差益	88,324	194,758
投資有価証券売却益	6,609	—
関係会社株式売却に伴う精算分配金	54,171	—
雑収入	67	726
営業外収益合計	166,802	209,820
営業外費用		
支払利息	50	16
持分法による投資損失	97,368	—
投資事業組合運用損	—	3,976
社債発行費	—	11,480
支払手数料	—	2,530
雑損失	469	347
貸倒引当金繰入額	△1,708	△483
営業外費用合計	96,179	17,868
経常損失(△)	△185,494	△183,747
特別利益		
投資有価証券売却益	663,214	—
新株予約権戻入益	—	2,050
特別利益合計	663,214	2,050
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	477,720	△181,697
法人税、住民税及び事業税	42,078	△1,244
法人税等調整額	8,271	△14,469
法人税等合計	50,350	△15,714
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	427,370	△165,983
四半期純利益又は四半期純損失(△)	427,370	△165,983

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	427,370	△165,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188,334	68,040
為替換算調整勘定	1,411	20
その他の包括利益合計	△186,922	68,061
四半期包括利益	240,447	△97,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,447	△97,922

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。